

市内施設訪問記



「地域生活を安心して送る力を
發揮できる支援を」

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
障害者支援センター（松が丘園） 多機能型事業所



今回は木々が色づく淵野辺公園の南隣に位置する松が丘園におじゃましました。

ボク協とはいろいろな縁がありますが、10月のほかはかられぬ「エンター」は出店していただいた手作りのパン「麦の穂」「長蛇の列ができたのは記憶に新しいJUNIOR」。

実は「松が丘園」という名前が建物全体の名前なんです。「障害者支援センター多機能型事業所」がこの通所施設の名前なんです。取材の案内をいただいたのは多機能型事業所のサークル管理責任者、渋谷美紀さんと。一時クア事業、就労相談や生活相談の部署、そして今回訪問した多機能型事業所など様々な障害者支援事業や部署が松が丘の地に集まっていますのが松が丘園なのだそう。

喫茶「麦の穂」も含まれる多機能型事業所の中でも就労関連の事業を中心に利用者の方の活動の様子を見学させていただきました。

☆自立訓練（生活訓練）事業



渋谷美紀さん

【企業受注の作業や運動プログラム、ビルメンテナンス講習、金銭管理など多彩なプログラムを実施し自立した生活や将来の就労に必要な能力を身につける支援を行う事業】

高等学校等を卒業したあと、具体的な仕事を経験しながら社会性を身につけたり、資格を取ったりと2年以内の通所をします。介護技術の講座もあり、訓練室に伺った時には「介護職員初任者研修」の資格試験に向け、10名あまりの方がそれぞれ教科書を広げ勉強に集中していました。また、よここいを踊る活動で芸術祭に参加したり、プロシエクターで写す大型紙芝居を演じるなど生活を楽しく社会参加も経験するそうです。楽しみがあつての生活ですね。

☆就労移行支援事業

【企業受注や食品製造、喫茶接客の作業を行うとともに、面接対策講座やビジネスマナー講座等の多彩な支援プログラムを実施し一般就労をめざす方々への支援を行う事業】



パン工房と坂内さん

喫茶「麦の穂」の厨房や店内で毎日作業をしています。ほかふれフェスタに美味しいパンを作って持ってきて販売したのもこの利用者さん。ちょっと休憩をとっていらした利用者の坂内さんにお話を伺ったところ、おすすめのパンは塩バターパンですが、僕の得意なのはチーズパンとのことでした。撮影も快諾、エプロン・三重帽の仕事を整え応じてくださいました。きちんと丁寧な話し方で就職をめざしている最中とのこと、就職成功をお祈りします。



勉強中の自立訓練生の方々

☆就労継続支援B型事業

【看板製作、印刷、企業受注（組み立て、仕分け、封入など）の作業を中心に、生産活動を通して就労意欲・生産能力の維持を図りながら、個々の目的に応じた柔軟な支援を行う事業】

部屋では中古の分別作業中。文字のカッティングの機械や大型看板の作業台もあり、ボク協の今夏新調した福祉有償運送の看板はここで作られたようです。利用者の方は就職した経験があるなど、年長の方も多く、リックスとして作業していらっしゃいました。事業所では工資を支払いつつ、「何のために働くのか」「自分の将来の生活は」を、利用者の方が考える機会を作り、仕事へのモチベーションを高めることを大事にしていきます。

また、どの部屋も少人数で穏やかな雰囲気、利用者の方は居心地が良さそうです。ここで仲間ができたと言っている方が多いというのも頷けます。人との関わりを楽しめる「仕事をやる力」の一つかもしれないと思いました。

「麦の穂」のパンのおいしい意識かれて訪問したのですが、外からではわからない利用者の方のひたむきな姿勢や職員の方の支援の熱さに触れることができ、良い訪問でした。お忙しい中を対応していただきありがとうございました。渋谷さんに感謝いたします。



麦の穂の看板



(恒藤・杉崎)

* 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
障害者支援センター 多機能型事業所
〒252-0223 相模原市中央区松が丘 1-23-1
☎: 042-758-2121 FAX: 042-758-7070